



行ってみよう！江戸時代 ～八代の町と村～



7月15日（金）～9月4日（日）

主催 市立博物館未来の森ミュージアム・八代市
 協賛 八代市立博物館友の会
 観覧料 一般400円（320円） 高大生300円（240円）
 中学生以下無料 ※（ ）は20人以上の団体料金
 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
 休館日 7/19（火）・7/25（月）・8/1（月）・8/8（月）・8/15（月）・8/22（月）・8/29（月）

ワークシートにこたえて全問正解したら、オリジナルバッジをプレゼント

博物館 TEL 34-5555



農耕絵巻 江戸時代 個人蔵

江戸時代の社会を支えていたのは、町や村といった共同体でした。人々は町や村に所属することで生活を成り立たせ、大名をはじめとする領主たちは、町や村を通して領民を治めました。

この展覧会では、八代の町と村をとりあげ、江戸時代の社会のようすをみていきます。八代にはどのような町や村があり、それはどのように運営されていたのか。町や村にはどのような人々が住んでいたのか。どのような活動をしてきたのか。八代に残された絵画や絵図、古文書など約四十点の資料を通して、これらの疑問に答えます。

講演会

「そうだったのか！江戸時代」

とき 7月23日（土）

午後2時～3時30分（開場1時30分）

ところ 市立博物館講義室

講師 林 千寿（当館学芸員）

※聴講無料、申込不要、先着80人

子ども体験講座

「大福帳（むかしのメモ帳）をつくらう」

とき 8月6日（土）午前10時～11時30分

ところ 市立博物館講義室

参加対象 小学生とその保護者

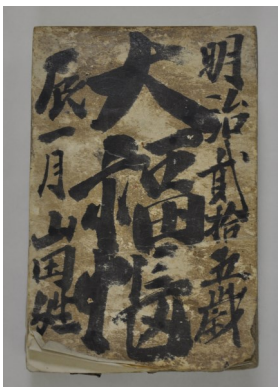
定員 20組

参加費 無料

募集期間 7月11日（月）～29日（金）

申込方法 市立博物館に電話で申し込んでください。定員になり次第、締め切ります。

博物館 TEL 34 5555



大福帳 個人蔵